

平成 16 年 9 月 24 日

各 位

会 社 名 北陸電気工業株式会社
代表者名 取締役社長 野村正也
(コード番号 6989 東証第1部)
問合せ先 取締役財務部長 野村 哲
(TEL . 076 - 467 - 1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年 5月12日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

- 1 . 平成 17 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)
(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	19,000	500	400
今 回 修 正 予 想 (B)	20,500	700	450
増 減 額 (B - A)	1,500	200	50
増 減 率 (%)	7.9	40.0	12.5
前期 (平成 16 年 3 月期中間)実績	16,951	304	112

- 2 . 平成 17 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)
(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	22,500	730	600
今 回 修 正 予 想 (B)	23,700	1,000	600
増 減 額 (B - A)	1,200	270	0
増 減 率 (%)	5.3	37.0	0.0
前期 (平成 16 年 3 月期中間)実績	20,262	663	301

- 3 . 平成 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)
(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	37,500	1,000	800
今 回 修 正 予 想 (B)	39,000	1,200	850
増 減 額 (B - A)	1,500	200	50
増 減 率 (%)	4.0	20.0	6.3
前期 (平成 16 年 3 月期)実績	35,895	757	402

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 10円19銭

- 4 . 平成 17 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)
(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	44,000	1,450	1,200
今 回 修 正 予 想 (B)	45,200	1,750	1,200
増 減 額 (B - A)	1,200	300	0
増 減 率 (%)	2.7	20.7	0.0
前期 (平成 16 年 3 月期)実績	42,557	1,351	750

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 14円39銭

5. 修正の理由

上期は、好調なデジタル家電需要を背景に、主力のモジュール製品が高水準になったことと、中国・アジア市場において、AV機器や自動車関連向けの受注が好調に推移したことを主因に、連単とも、売上高、経常利益は予想額を上回る見通しであります。

中間純利益としましては、コア事業への集中の観点から、ブラウン管用高圧抵抗器の製造販売を行っている連結子会社の北陸マレーシア(株)を売却することにより、特別損失が、単体で50百万円、連結で305百万円発生する見通しであります。経常利益の増加により、予想額は達成の見通しであります。

なお、この連結における特別損失の主体は、北陸マレーシア(株)売却に伴う為替換算調整勘定の実現によるものであり、連結自己資本への影響は軽微であります。

下期におきましては、市況の調整が予想されますが、高付加価値品の拡販や中国天津市への生産シフト等によるコスト削減により、計画通りの業績を予想しており、通期としましても、連単とも、売上高、経常利益は予想額を上回る見通しであります。

以上